

チャイルド・ファンド・ジャパンだより

[スマイルズ] 2007年7月 NO.9

# SMILES

<http://www.childfund.or.jp/>



チャイルドたちのお手伝いシリーズ

9

## “皿洗い”

チャイルドたちは、家のお手伝いをよくします。  
皿洗いをするときには、水汲み場から運んだ水を無駄にしないよう  
気をつけて洗います。

支援チャイルドで、家から歩いて15分以内に安全な水汲み場がある家庭は約82.4%です。  
写真：センター10(南カマリネス州ナガ市)

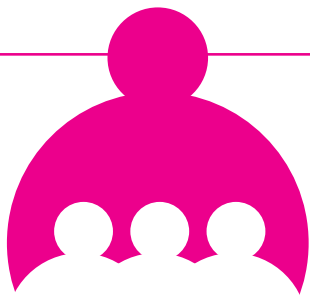
ChildFund  
Japan

～CCWA国際精神里親運動部は、  
2005年3月チャイルド・ファンド・ジャパンに法人変更しました～



特集

作家永井路子さんと  
3人のチャイルド



## 特集

# 作家永井路子さんと 3人のチャイルド

永井路子さん(作家)82歳

1965年、『炎環』で第52回直木賞を受賞。  
1984年には、中世を題材にした作品で歴史小説に  
新風をもたらしたとして、菊池寛賞を受賞。  
作品は、NHK大河ドラマの「草燃える」「毛利元就」  
に原作として使用された。



永井路子さんは、1982年から25年にわたってスポンサーとして  
支援を続けてくださっています。ご支援いただいたチャイルドは  
今までに3人。今号では永井さんからお寄せいただいた手紙と記録、  
そして書き下ろしのエッセーにより、スポンサーシップ・プログラム  
ならではの“つながり”をご紹介します。

## はるかに手のぬくもりを

永井 路子

「えっ、もう十年にもなるのですか」  
チャイルド・ファンド・ジャパンのスタッフから、ロランド君との歳月を知らせていただいていたのでびっくりしました。そういえ  
ば初めての手紙の頃の彼は十歳くらい、かわいい少年だった彼は、今年カレッジを卒業したのです。

「よくやっただね」と肩を叩きたい思っています。この団体がCCWAとついていたころ、私はスポンサーの仲間入りをし  
ました。東京女子大学の同級生、三宅ケイさんの「あしながおぼさん空を飛ぶ」というCCWAのメンバーとしての感  
動的な御著書をいただいたことがきっかけでした。

最初のチャイルドは、ジョエル君。まだあどけなさの残る坊やでした。二十数年前のことです。それから文通が始ま  
て気づいたのは、フィリピンのクリスマスは雪景色ではないことでした。雪の中をトナカイに曳かれて、サンタさんの走る  
カードでは、ジョエル君には、ピンとこないでしょう。探してみると雪の降っていないクリスマスカードは案外少ないのです。

ジョエル君からは幼な残るかわいい手書きのカードが来ました。  
以後、日本のことを少し知ってもらおうと、桜の絵はがきや富士山のカードを送ったりしましたが、数年後、ジョエル  
君とはお別れすることになりました。すでに両親は離婚しており、お母さんは洗濯の仕事をしているとのことだ  
たが、家庭の事情でどこかへ移ったのでしょうか。

次に紹介されたのは、マリヴィックという美少女でした。父親は小作農、母は洗濯婦としてわずかな収入を得ている  
状態で、マリヴィックちゃんも幼いながら家事の手助けをしているというところでした。毎年送られてくる「成長の記録」  
で少女はいよいよ美しくなっていました。彼女とお別れた事情はよく覚えていないのですが、次に紹介をされたの  
がロランド君でした。

同じように雪のないクリスマスカードを送ったり、お誕生日にお祝いのカードをあげたりして、彼からも手描きの、  
すばらしいクリスマスカードを貰い続けました。昨年の記録ではなんと百七十七センチ、五十九キロの堂々たる青年にな  
っているではありませんか。  
カレッジを卒業して数学の先生になるといつのもし心強いことです。クラスでもリーダー格であり、センターの活動に  
も熱心です。子どもたちの補習授業を助けているとか。

国力の基礎はなんとしても教育にあります。彼のような青年が多くの子どもたちに学ぶことの楽しさを教えて  
くれることにより、フィリピンは、もっともつとすばらしい国になるでしょう。はるかに離れた子どもたちの手のぬくも  
りを今も感じていきます。

「成長の記録」を取り出して気づいたのは、マリヴィックちゃんとロランド君がほぼ同年齢だということです。援助を  
離れた彼女、美しい女性に成長して、今どつとつしているか、心が痛みます。チャイルド・ファンド・ジャパンの皆様より手厚  
に支援を期待します。





特集

作家永井路子さんと  
3人のチャイルド



## 18才の決意

ハイスクール4年生(18才)

2003年1月

ここ数年、新年をよいスタートではじめることができています。今はハイスクール4年生ですがカレッジに進学できたらと願っています。家族は貧しいですが、ベストを尽くして努力したいと思っています。そして、勉強をあきらめて家族を支えてくれた兄と弟、それから同じ地域の他のチャイルドたちを、今度は僕が支えられるようになりたいです。

## 嬉しいときも...

大学1年生(19才)

2004年3月5日

教育は、国の基礎だというメッセージをありがとうございます。とても励まされました。大学では多くのことを学んでいます。12月には教育学部の委員に選ばれました。それから僕が書いた詩が、学内新聞に掲載されました!他の学生が、自分の作品を読んでいる姿を見ると、すごく誇らしい気持ちになります。センターでは、算数の苦手なチャイルドたちに、教えています。

## 辛いときも...

大学2年生(20才)

2005年9月5日

大学生活では、今までにないいろいろな困難なことに直面しています。でも、チャレンジだと思ってがんばっています。どうか僕を信じてください。卒業することが、永井さんと、家族への唯一のプレゼントだと思っています。いただいた手紙やメッセージは、僕にとってどれも大切なものです。僕の人生に起こったとても思い出深い出来事として大切に心にしまって生きていきます。

## そして、ついに!

大学4年生(22才)

2007年4月28日

今までの僕の人生には、たくさんの思い出深い出来事がありました。でも1番は小学校からカレッジ卒業まで永井様がずっと支えてくださったことです。どうやって、お礼を伝えればよいのかわかりません。いつも励ましてくださったおかげで、時にはつらいことや困難もありましたが、乗り越えることができました。今はセンターで年下のチャイルドの補習授業を手伝っています。この教えるという経験は、これから僕が教師採用試験を受けるときにもとても役立つと思います。これからさらに、夢にむかって前へ進むことにワクワクしています。最後にこの格言を...。There is nothing impossible to a person who try (成せば成る) 本当にありがとうございました。遅くなりましたが、誕生日おめでとございます。

Love,  
Roland

永井さんから:

ロランド、あなたがすばらしい青年に成長したことをとても嬉しく思っています。今まで3人のチャイルドを支援してきましたが、卒業まで応援できたのはあなたが初めてです。本当に良く学び、まわりの人へも思いやりがあった。良い先生になって、優しく子どもたちを教えてください。フィリピンの多くの子どもの教育水準を高めるよう、活躍を期待しています。



## “ 国力の基礎は教育 ”

ハイスクールを卒業したチャイルドの進学

チャイルド・ファンドのスポンサーシップ・プログラムは通常、ハイスクールの卒業を持って支援を終了します。しかし優秀で意欲がありながら、フィリピンの地方行政や大学が支給している奨学金を得るにはあと少し成績が及ばなかったチャイルドを対象に、進学を支援する制度があります。毎年、各センターから1~4名の枠の中で推薦され、2007年度は41人のチャイルドが選ばれました。進学のチャンスを得たチャイルドは、各地域で他のチャイルドたちの目標となり、またリーダーとして活躍することが求められます。

今回の特集を組むにあたり、永井さんが25年にわたり保管されていた3人のチャイルドのお手紙、成長記録を事務局にお送りくださいました。膨大な量の手紙を読ませていただき「日本の足ながおばさん」とチャイルドたちとの心の軌跡を追うことができました。そこには、「貧しい子どもを支援する」という関係をはるかに超えた、人と人の思いやりやぬくもりがあふれています。

記事の作成にあたって、ロランドの暮らす協力センターに電話をしたところ、偶然彼と話しをすることができました。

最後に、ロランドのはつらつとしたメッセージをお伝えします。

「卒業後、僕はセンターで、8月の教員採用試験に備えて勉強をしています。永井さんからのお手紙やカードは全部大切に持っているのですが、この前数えたら32通ありました。本当にありがとう。ベストをつくします!」



## チャイルドへお手紙を書いてみませんか?

「手紙を書きたいけれど、時間がない」「チャイルドに寂しい思いをさせて申し訳ない」事務局へは、このような悩みが数多く寄せられます。

実際には、約4,000名いるスポンサーのうち、お手紙を出される方はおよそ半数。約2,000名の方は、お手紙のやりとりはせずに、心の中でチャイルドを応援してくださっています。

お手紙を送らずとも、ご支援を続けてくださることで、チャイルドに大きな希望をくださっています。

交流の第一歩として、お手元にご自身やご家族の写真がありましたら、チャイルドへ送ってみませんか?写真の裏に、以下のようなメッセージを添えていただくだけで、チャイルドにとつてかけがえのない宝物となります。



愛犬と一緒に



お庭の花を



旅の思い出の1枚を

With Love (愛をこめて)

I am always thinking of you.

(いつも、あなたのことを思っていますよ)

Try to do your best! (ベストを尽くしてね)

Take Care (身体に気をつけてね)

\*日本語でもOKです。事務局で翻訳をいたします。

## チャイルドたちに会いにいきませんか?

皆様からのリクエストにお応えして2008年2月(予定)に、フィリピンのチャイルドに会いに行く「スポンサー訪問の旅」を実施いたします。訪問地域、日程など詳細が決まりましたら次号機関紙(10月ごろ発行)にてお知らせします。チャイルドの地域、学校、家庭訪問をとおして、フィリピンの文化、暮らしも体験していただけるプログラムを計画しています。ご期待ください!!



永井さんのエッセー(P2)で紹介された本の貸し出しをいたします。

著者の三宅恵子さんが、チャイルドとの文通やフィリピンへの訪問をとおして体験したこと、感じたことがいきいきと伝わってきます。

「主婦の友社」1982年(絶版)

ご希望の方は 03-3399-8123 (支援者サービスグループへ)

現在、チャイルド・ファンド・ジャパンが支援しているプロジェクト

- 【インドネシア】
  - ・ジャワ島中部地震の復興支援事業 (2007年6月末終了)
- 【インドネシア・スリランカ】
  - ・津波被災者の復興支援事業
- 【ネパール】
  - ・保健行政システムのキャパシティ・ビルディングによるネパールの女性と子どもの栄養改善計画
  - ▶ 栄養改善事業
  - ・オカルドンガ地域病院事業
- 【フィリピン】
  - ▶ バラワン族生活改善プロジェクト

## パラワン族生活改善プロジェクト

[ 安全な水が育んだ生活改善への自信 ]



フィリピン

協力期間:2003年6月1日~

支援対象:パラワン州ブルックスポイント町に住むパラワン族300世帯。

(このうち水供給事業の対象は、バヨグ地区、ラアング地区の160世帯と小学校4校)

協力団体:AMP-IPM\* (Augustinian Missionaries of the Philippines Indigenous Peoples Mission) \*カトリック修道会内で社会福祉活動を担う使徒会の1つ。少数民族パラワン族の文化継承、保健・栄養改善・教育活動・環境保護活動を行う。

長年水不足に悩んでいたパラワン族の人々が、皆様のご支援により、安全な水を得て、初めての本格的な夏を迎えています。それまでは、山を2キロ下った水源まで水汲みに行くのが子どもの仕事でした。その水源も、夏には水量が下がり、ボウフラが湧き、子どもたちは皮膚病などの感染症に悩まされていました。支援事業では、この水源を保護し、そこから集落内に設置したタンクまで水をひきました。

昨年7月、この設備が稼働した当初は、子どもたちは、パイプから水がとめどもなく流れ出るとい初めて見る光景に魅了され、いつまでも水浴びをやめず、風邪を引く子どもが出るという予期せぬ事態にも直面しました。しかし2007年4~5月には、この水を利用して野菜もたくさん採れ、市場で売ることまでできたという感謝の連絡が届きました。「去

年の夏を境に、私たちパラワン族の生活は一変しました。私たちの子ども、孫の代まで、この設備が活かされるよう、水源の保護と設備の維持のために最大限努力します。」

この言葉にあるようにパラワン族の人々が、この水供給事業を通じて得たものは、安全な水だけでなく、自分たちの力で協力して生活環境を改善していくことへの自信です。この「やる気」を支え、定着させるための活動を引き続き見守っていただければ幸いです。



実った野菜の収穫に勤む村人たち

(プログラム・グループ:細井なな)



ネパール

## 栄養改善事業 [ 子どもの“生存と発育”の権利を守る ]

協力期間:2000年7月16日~ 継続中

支援対象:ネパールの貧困層、特に女性と5歳未満の乳幼児

協力団体:NPCS\* (Nutrition Promotion and Consultancy Service)

\*ネパールのNGO。貧困層や社会的弱者を対象に、地域の住民への保健教育や他のNGOスタッフ、行政官への研修を実施する。

農家の軒先で行われる成長観測と栄養教育



ネパールの1人あたりの国民総所得は僅か270米ドル(日本38,980米ドル)と、世界で最も厳しい状況に置かれています。この貧困の影響は、5歳未満の子どもたちの2人に1人が中度と重度の発育障害に苦しんでいるという状況に表れています。このような中で2000年から皆様のご支援のもとチャイルド・ファンド・ジャパンが実施している栄養改善事業を視察するため、2007年4月に支援地域を訪れました。国道でバスを降りて、汗だくになりながら山道を登ること1時間半。貧しいネパールの中でも特に貧しい状況を強いられている山岳少数民族のチェバン族が住むジョギマラ村に着きました。しばらくす

ると、毎月1回行なわれる発育観察に参加するため、乳幼児を連れた母親たちが集まってきました。栄養教育の話しに続いて、体重測定や検診が行なわれます。

厳しい状況ながらもこの村では、発育観察や、栄養教育、村人が栄養ボランティアとして栄養不良児を抱える家を訪問する在宅栄養指導など、地道な活動が功を奏して、元気を取り戻す子どもたちが増えています。このように村の母親たちが自ら参加して身につけた知識が、子どもの“生存と発育”を守るうえでかけがえのない財産になります。

ただ今、夏の募金キャンペーンを実施しています。

(2007年7月1日~9月30日)ぜひ暖かいご協力をお寄せください。

(事務局長 小林 毅)

この「ネパール栄養改善事業」へのご支援をお願いする2007年夏の募金キャンペーン実施中です！詳細は、先日お送りしたご協力依頼のチラシをご覧ください。どうぞご協力をお願いいたします。

[ 口座名・加入者名 ] 特定非営利活動法人 チャイルド・ファンド・ジャパン

[ 郵便振替口座 ] 00170-8-196462 [ 銀行振込口座 ] 三井住友銀行西荻窪支店(普)0920355

[ クレジットカード ] 03-3399-8123 当事務局までお電話ください。

# ハロハロめペ〜ゾ

\* ハロハロとはタガログ語(フィリピン語)で「いろいろ」「まぜこぜ」という意味です。このページは読者の皆様からのリクエストや投稿などをもとに作るページです。

## フィリピンの明日を担う

### 選挙に参加する元チャイルドたち

フィリピンでは4月が最も暑い季節。今年はさらに暑い(暑い)!? フィリピンの大統領の任期は6年。アロヨ大統領就任から3年経ち、任期の折り返し地点となった今年、「中間選挙」の投票が5月14日におこなわれました。選挙戦真っ只中の4月下旬、フィリピンに行ってきました!

#### 熱い選挙戦!

ルソン島南部の都市ナガでは、与党、野党の各勢力が活発な選挙運動を繰り広げていました。スピーカーからの大音量とともに走り去る選挙カー、夜遅くまで町の中心部の広場を埋め尽くし、政治集会の演説に聞き入る大観衆。活気づいた町はまるでお祭りのようです。投票日にも、投票所周辺は人でごった返し、食べ物屋台がたくさん出ていたとか。とにかく熱いフィリピンの選挙。静かな日本の投票風景とは対照的な光景です。実際、今回の中間選挙の投票率は75%。高い地域では85%にものぼりました。人々の関心が高いフィリピンの選挙ですが、いっぽう候補者や



“この通りに書いて!”  
候補者の名前があらかじめ書かれた  
サンプル投票用紙が、投票所周辺で  
ばらまかれます。



“まるで七夕!”  
候補者のポスターと人であふれる投票所

その支持者らに対する暴力事件が毎回相次ぎ、今回も死者が120人を越えました。投票箱の盗難、票の買収などの不正も大きな問題として報道されました。

#### 政治に参加しようよ! - センターのとりくみ -

ナガ市にあるチャイルド・ファンド協力センター(センター番号10)を訪れると、50人ほどの人が集まり何やら話し合っている様子。司会の話に皆熱心に耳を傾け、その後参加者はグループに分かれて意見を発表します。ロールプレイ(寸劇)をし、和気あいあいとした雰囲気では進みます。

この会は「有権者教育セミナー」です。参加者は主にチャイルドの親たち。センターが力を入れている「自己啓発プログラム」の一環です。選挙では、票集めのためにTシャツなどの衣類や現金を配る候補者がいたり、逆に日銭を稼ごうと票を売る有権者もいます。このセミナーのねらいについてセンター長のエドナ・マセダさんは言

2006年7月から、  
チャイルド・ファンドのスタッフに。  
学生時代に1年間フィリピンへ留学したことがあり、  
その経験を活かして支援地域の“リアルな情報”を  
いかに皆さんに伝えるか、日々切磋琢磨しています。  
レポーター: 支援者サービス・グループ  
石井啓子



センター10のスタッフと石井(右から2人目)

います。「一人一人が有権者としての責任感を持ち、公正で能力ある候補者を選ぶ目を養うこと、そして、“誰が政治を担っても貧困は変わらない”とあきらめるのではなく、選挙・政治のプロセスに積極的に参加することを目指しているのです。」

#### 未来は彼らの手に - 元チャイルドたちの笑顔 -

参加者の中で10人ほどの若者が目を引きました。ハイスクールを卒業してチャイルド・ファンドの支援を離れた元チャイルドとその友人たちです。フィリピンでは18歳から選挙権を得られます。彼らにとっては今回が初めての選挙。セミナーに参加した感想は? 「政治や選挙について知識を得ることができて勉強になりました」「不正をする政治家に利用されないように、真実を求めて行動しよう」と決心しました。

さらに、セミナーをきっかけに、民間の選挙監視団体(PPCRV:責任ある投票のための教会会議)のボランティアとして、投票所の監視や開票作業の立会いに携わる元チャイルドたちもいます。彼らは一市民として政治に参加し社会に貢献できることに喜びを感じていると言います。



“政治にどんなことを求める?”  
参加者に語りかける講師

支援を受けたチャイルドたちが成長して、社会のために何ができるかを考え、自ら行動しているのを目の当たりにし、スポンサーの皆さんのご支援によって蒔かれた種から小さな芽が出て、フィリピンの明日を担う大きな力になっていくことを私は肌で感じることができました!たとえ小さな一歩からでも、彼らの行動が政治を変え、人々の生活の向上、希望の持てる未来へとつながっていくことを、心から願います。

[中間選挙、その結果は...?] 中間選挙では、上院の半数(12議席)下院の全議席(250議席)のほか、州知事、市長、議員など約17,800のポストが改選されました。全国区で争われる上院は、アロヨ政権の信任を問う意味合いがありました。2004年の大統領選での不正疑惑が発覚して以来、上院で与党派議員の政治離れが進んだのです。結果は野党勢力が7~8議席で優勢を占め(Manila Bulletin 5/28付)、アロヨ大統領は上院での敗北を認めました。下院では与党が上回りました。

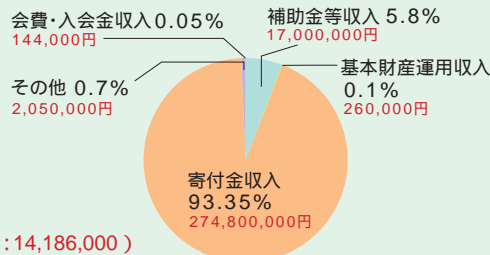
## 2007年度予算の概要

2007年3月23日にチャイルド・ファンド・ジャパンの総会が開かれ、2007年度の事業計画と予算が承認されました。皆様へのご報告と同時に、変わらぬご支援に心から感謝を申し上げます。

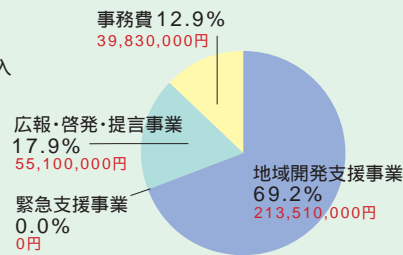
次期繰越収支差額：7,089,754円 =  
(前期繰越収支差額：21,275,754円) - (当期収支差額：14,186,000円)

予算に関するご質問は、会計・庶務グループまでお問い合わせください。

収入の部 294,254,000円



支出の部 308,440,000円



お願い

**ご家庭に眠っている古本を、今年も送ってください**

- 企業との協働 チャリティ古本市2007開催決定! -

昨年に引き続き8月27日～31日まで企業5社と協働でチャリティ古本市を開催します。現在、古本集めが難航していますので、ぜひご協力をお願いします。

○お送りいただきたい本

・文庫・新書(17×11cmのサイズ)・単行本(新書サイズより大きい、ハードカバーの本)・児童書

×受付られないもの

・雑誌・週刊誌全般・コミック全般・非売品(同人誌・パンフレット等)

送付先：チャイルド・ファンド事務局『チャイルド・ファンド古本市係』

送料はお手数ですがご負担をお願いします。本のご寄附は8月10日(金)までとさせていただきます。古本市の日時、場所など詳しい内容は7月にチャイルド・ファンドのホームページをご覧ください。

報告

**杉並区でチャリティ・イベントが2つ開催されました**

3月26日：杉並区の活字文化フェスタで「杉並ボランティアセンター」と共催で「チャリティ古本市」が開催されました。区民の皆さんから3,000冊以上の古本が寄せられました。

4月30日：NPO「ハッピーエンジェルス楽団」の皆さんが杉並公会堂のグランサロンでチャリティ・コンサートを開いてくださいました。両イベントのご寄附は、フィリピンの子どもへの支援に活用させていただきます。

お知らせ

**ホームページが新しくなりました**

チャイルド・ファンド・ジャパンのホームページが6月1日より、リニューアルしました。2名のチャイルドの、フィリピンでの暮らしと変化の様子をストーリー形式で紹介しています。他のページもどンドン、新しい情報を加えていきます!ぜひご覧ください。

<http://www.childfund.or.jp/>

報告

**フィリピンで『TSUNAGARI PROJECT 愛=LOVE』絵画展開催**

5月25日から27日までフィリピンのマニラで、フィリピンと日本の子どもたちが描いた絵画展が開かれました。この絵画展は「SMILES 8号」で、ご紹介したものです。深町正信理事長もフィリピンを訪れ、参加したチャイルドたちと、交流を深めました。



お知らせ

**認定NPOの取得を準備しています**

事務局では、支援者の皆様に寄附金控除を受けていただくことができる「認定NPO法人」として認可を得るため引き続き準備をすすめています。認可を国税局に申請するには、2005年度および2006年度と最低2事業年度の実績が必要となります。申請後、認可まで最低半年間かかるといわれています。認可がおりしだい、すぐにお知らせいたします。

ChildFund  
Japan

## Vision Mission

チャイルド・ファンド・ジャパンはここに掲げるビジョン(目標)、ミッション(使命)に基づいて活動します。

### ビジョン(目標)

すべての子どもに開かれた未来を約束する  
国際社会の形成

### ミッション(使命)

生かして生かされる国際協力を通じて  
子どもの権利を守る

ビジョン・ミッションに関する詳細は「2006年度年次報告書」p2をご参照ください。

スマイルズ  
<チャイルド・ファンドだより SMILES> 2007年7月発行

〒167-0041 東京都杉並区善福寺2-17-5

特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン

理事長 深町正信(青山学院院長) 事務局長 小林毅

TEL. 03-3399-8123 FAX. 03-3399-0730 E-mail: childfund@childfund.or.jp URL: http://www.childfund.or.jp/

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

PRINTED WITH  
SOYINK

大豆油インキを使用